



採用審査、臨教への一次免除拡大!

1月22日、今夏行われる採用審査の概要が発表されました。(詳細は三月中旬に発表予定。) 一次審査は、6月1日(土)。昨年よりも約2週間、早くなりました。

主な改善点は、①年齢制限59歳まで引上げ、②適性検査廃止、③出願時に着任中の臨教で過去3年間に一次に合格している人は一次審査全面免除(昨年までは専門教養の受審が必要)、④教職教養免除の高知県臨教経験(通算24月以上)は過去4年の限定をなくす等です。

県教組で要望してきたことが取り入れられた結果です。高知県で頑張っている臨教にとっては免除が受けやすくなりました。これからも、更なる改善(例えば、審査日程の見直し・支援員の扱い等)の要望を続けていきます。 **臨教のみなさん、これからも頑張ってください!**

23年度 第11号
通巻1797号

発行所:
高知県教職員組合
〒780-0850
高知市丸ノ内2-1-10
TEL088-822-4135
FAX088-823-2355

全教職員
配布
読んでね

県教組HPは
↓こちらから



困ったことを相談できる!
『はなはなカフェ』で
対話は必ず高教組!

「『はなはなカフェ』って：どういう意味があるんですか?」

先日、全教の組織情宣部担当の方から、問い合わせの電話がありました。：ですよね

種を明かすと：高教組で採用1〜3年次の方を対象とした行事にとりくもうとなった時、ネーミングをどうするぜよ?!となり：採用1〜3年次の方の「話(はなし)」を聞きたい、話をしたい」という思い、はなやかな雰囲気を感じさせるワード、コロナも一定落

ち着いてきたのでお茶やお菓子をいただきながら：などなど、いろいろの意味をこめて、「はなはな1・2・3カフェ」ということにしました。

そして、採用1〜3年目の方全員(教諭だけでなく、様々な職種の方にも)に案内状を出しました。

急遽9月に行った1回目は、採用1〜3年次の方の参加は組合員お一人、未組織の方お一人：という状況でしたが、時間いっぱい話をする事ができました。来られないけれども、このとりくみの案内

と一緒に送ったアンケート(Googleフォーム)で回答できるものには協力してくれた方もいらつしやいました。

12月に満を持して実施した2回目(24年度の名簿登録が決まっている方で、お名前がわかっている方にも案内、「はなはな0・1・2・3カフェ」に!)では、うれしいことに新しい仲間を迎えることができました!その方との対話をすすめるために、その方と同じ職種の若手の組合員にも参加をして

もらい、「組織拡大・強化」にふさわしいとりくみとなりました。「はなはなカフェ」は、採用1〜3年次の方のさまざまな思い(県外出身の方も多いため困りごとも多いのでは? 高知県の「年次研」の多さ・キツさ、ハラスメントの問題など)に寄り添い、高教組青年部もこの会に参加しながら元気になれ、そして仲間も増やしていければ：という思いから継続してとりくんできたいと思います。(高教組書記長・掛橋佐和)



ホッと出来る時間、職場で大切に!

お城下

立场上、県外に出張することも多い。その時、その地方の新聞を読むのが楽しみ。▼去る1月7日は京都。買って読んだ京都新聞の1面、市長選の争点を論じる特集の中、教職員不足の解消に「臨教のプール制」導入の記事▼臨教に登録している人は、代替の口が出来たので行って欲しいという連絡があるまで基本は自宅待機。いつ呼ばれるかも分からないので、アルバイトも出来ない。自分も、大学を出て1年間は自宅待機のまま浪人状態▼高知県教組では、30年ほど前から、雇う形(例えばA校で補助的仕事)にして臨教をプールする制度を提唱し続けてきました。

ついに実現する教委が出てきたのかと感激▼京都市教委に確かめると、具体化(詳細)はこれからとのこと。でも一歩踏み出しているのは間違いない▼臨教不足の中、解消に向けて高知県も全国最先端の大胆な制度改善を強く願います。(和)

餅つきで交流深まる！

安芸でも 幡多でも



安芸教組では

1月7日(日曜日)、安芸教組では毎年恒例の餅つき交流会を行いました。会場は安芸教育会館です。教育会館中庭に石臼を運び、去年と今年に分けて購入したかまどに火を焚き、もち米を蒸します。寒空の中、少しずつあたたかい気持ちになってきました。教育会館の1階和室からは炊かれたあんこの好いにおいが立ち込

めてきます。みんなであんこを丸めていきます。そろそろもち米が蒸しあがるころです。蒸されたもち米をこねて、ついて、返しての繰り返しをみんなで行います。毎年恒例の行事ですが、新しい年を迎え、気持ちも新たに、3学期もがんばろうという気持ちになつてきます。今年も若い先生たちを新しく組合の仲間に加えることができ、その新しい仲間

が餅つき交流会にも参加してくれました。仲間と一緒に餅をつき、丸めて、そしてその後も楽しく語り合っていると、ともにがんばりたいという気持ちが心の中からわいてくるようです。餅つきには組合員として退職された後、支援員として若い先生方を支えてくださっている先生や、幡多教組の先生、さらには採用を目指してがんばっている臨時教員の先生も参加してくださり、交流会も大盛況となりました。

仕出しや餅つきの準備や買い出しなど裏方で支えてくださった先生方にも感謝です。今年も良い年になるよう、ともにがんばっていきましよう。(安芸教組 神野寛)

幡多教組では

12月30日(土)、幡多教組主催の餅つき大会が四十市の幡多教組組合長自宅の納屋で行われました。22年度に県教組青年部の忘年会として実施した餅つきが好評だったために、もう一度やろうということになり、今回の開催となりました。組合員、未組合員とその家族を含む16名の参加がありました。大人はもちろんですが、小さい子どもたちが喜んで餅つきに興じる様子が微笑ましかったです。年末の慌ただしい中、日頃の疲れを癒やし、元気がもらえる貴重な体験と時間となりました。これからも、こうした「誰もが参加出来る、楽しめる企画」を考え、実施していきたいと思

あなたの声を聴かせて!

働き方などに関する学校現場の生の声を集めて、教職員定数増など様々な要求運動につなげます。ぜひご協力を。下記のQRコードから、今すぐアクセスを! 今月末の29日まで。

中教審に声を届けます

学校がもたない! 緊急アンケート



みなさんから寄せられた声は、記者発表をおこなって社会的にアピールします。

期間: 2月8日から29日まで
← アンケート記入ページ

長時間労働歯止め署名をすすめるネットワーク

事務局: 全日本教職員組合 / 新日本婦人の会 / 全日本退職教職員連絡協議会

子連学習会 (参加費無料)

「このままでは学校がもたない」

講師 中嶋哲彦さん

(愛知工業大学教授)
(「教員の長時間勤務に歯止めを」署名呼び掛け人)

日時 2024年3月10日(日)
15時~

場所 高知城ホール

★どなたでも参加出来ます。ぜひご参加下さい。

学校でのハラスメント防止 その5 県教委の対応の問題点④

今回は、土佐清水市立小学校で生じた臨時教員に対するセクハラ・パワハラ事件について、県教委等の対応にどのような問題があったのか、被害者側がまとめた文書をもとに紹介したいと思います。

1. 被害者は守られなかった

被害者側が納得できない最大の問題は、被害者である臨時教員が守られることなく、退職に追い込まれたことです。

被害者を守ることにこそハラスメント対応の出発点です。そのため校長、市教委、県教委、それぞれが果たすべき役割があったはずですが、ところがこの事件では被害者に対する必要な支援がどこからもなされず、被害者

は出勤できないまま退職に追い込まれました。

2. 十分な事実確認がなされなかった

この事件では、小中学校課が教頭のハラスメント行為を認識した段階では、十分な事実確認と調査が行われませんでした。そのため昨年3月段階で、事件は「懲戒処分になるかどうかの境界線」で処理されようとしていたのです。

被害者側が県議に相談したことで、昨年4月に初めて県教委による聞き取りが行われ、県教委が把握していなかった事実が次々と明らかにされました。事実確認が不十分なままの小中学校課の対応により、事件の処理に長い時間が

かかりました。そのため、加害教員(以下会話文中、△△)の異動先の学校にも深刻な影響をおよぼすこととなりました。

3. 「怪電話」に毅然とした対応がなされなかった

一昨年11月、被害者の中傷する「怪電話」が学校にかかり始め、被害者は身の危険を感じます。被害者を守る上で、また危機管理の点から市教委は警察に相談する等の毅然とした対応が必要でした。

ところがそうした対応はなされませんでした。その理由は、「どうも電話は△△の仕業やろうねえ」という校長の判断にあったのではないかと疑われます。加害教員をかばう甘い対

応が被害を拡大した恐れがあります。

4. 被害者を傷つけた小中学校課の対応

小中学校課の担当者、被害者側(会話文中、○○さん)との連絡において下記のような発言をしています。

「セクハラ・パワハラ等が子どもに向けられたものではなく、職員なので△△には変わらさず勤務してもらっています。」

「甘いですか。△△は十分に反省していません。」

「処分が決まったとしても、それを○○さんに知らせるかどうかは△△の意向に従いますので、△△が知らせなくていいと言え、○○さんに知らせることはありません。個人情報になりますので。」

「(降任の)希望願を出したら処罰がなくなるという、そういうカラクリがあるんですよ。」(この発言は後に上司が取り消し)

「処分に時間がか

かっているのは、懲戒処分になるかどうかの境界線で判断に時間がかかっているため。」

「ラインコピーを文字で見たら、ワイセツなセリフがない。」

被害者側に対するこうした発言は、果たして「被害者に寄り添う対応」なのでしょうか。また、このような発言をした県教委担当者(県教委全体?)の見識も疑わざるを得ません。

5. 「検証」の場でも蔑ろにされた被害者

県教委は2事件をふまえ、県教委の対応についての「検証」を始めました。しかしそれは、両事件の被害者に対する聞き取りもないままに、わずか2時間・1回だけの「第三者委員会」(昨年9月)の協議で終えようとするものでした。

安易な幕引きに批判の声が高まったため、やっと被害者からの聞き取りが行われ、先日(本年1月)

2回目の「第三者委員会」が開催されました。しかし、その行方は不透明です。このような経緯から考えて、県教委は、「検証」の場においても被害者を蔑ろにしたと言わざるを得ません。

これまで、2事件とそれに対する県教委の対応の問題を紹介してきました。次号では、求められるハラスメント対応について述べ、本連載を締めくくりたいと思います。

(高教組・野村幸司)

教職員のための自動車保険は

全教自動車保険

教職員と家族を守って32年

WEBでかんたん見積依頼



右のQRコードから見積り依頼を→

女性部のアンケート(23年夏)へのご協力、ありがとうございました。遅くなりましたが、その結果と運動を、今月号の別刷り(A4両面刷り)でまとめています。どうぞお読みください。

平成大合併で消えた自治体名⑪

1	2	3	4	
5		6		
7		8	9	10
		11	12	
	13			
14				15

9. 共通する動詞、涙を〇〇、舟を〇〇、水を〇〇、
11. それがどういうものであるかを、相手に分かるように伝えること
13. 見るだけの値打ちのあるもの

14. 大阪万博反対！その跡地利用の〇〇も反対！
15. 〇〇とオフの切り替えて気分転換を！
すが、自治体としてはなくなつた名前を作つて下さい。①解答②郵便番号・住所③氏名(匿名希望の方はペンネーム可、ただし本名は忘れずにお書きください)④職場名⑤職場の話題か教育通信の感想、を書いてメールまたは葉書で送つて下さい。締切は3月29日。3名の方に図書カードを進呈。⑤は紙上で紹介させていただくことがあります。

【タテのカギ】

- 1. 2月の別名
- 2. 立春後まで残る寒さ
- 3. 目、口、鼻のある体の部分
- 4. 明け方
- 8. 読める？曲者
- 10. 過疎化でお医者さんがいなくなりました。
- 12. 豆をまかれる鬼

【ヨコのカギ】

- 1. 小中学校では無い償で配付
- 5. 斜面
- 6. くさび形の歯のある鉄に柄をつけた道具
- 7. 順位

【12月号の当選者】

「とさやまむら(土佐山村)」でした。抽選の結果、次の3名が当選されました。おめでとうございませう。
川上万葉さん(山田小)
ひょうさん(四万十高)

節分の豆無限に食べれる



【みなさんの声より】
(伊尾木小) 青い鳥さん
65歳で初めての中学校勤務。早いものでもう2年近くとなりました。生徒たちから笑いとエネルギーをもらっています。
今年度は、マスクなしで卒業式が出来るのが嬉しいです。
「高知県型小学校教科担任制要綱」に、導入によって期待される効果(教科担任制導入の趣旨・ねらい)として「授業の質の向上」が記述されていません。授業の準備・片付けの時間が保障されていない理由を見つけたような気がしました。
○教員採用試験が早いのに、発表が遅いと初めて知りました。意欲ある人が他県に流れてしまう状況にあるんですね。それは最後には子どもたちにしわ寄せが来ることになる。何とかならないでしょうか。
○怒濤の二期期がやつと終わった！と強く感じる今日この頃。

行事、研修など、コロナ前の活動が戻り、なまっていた身体に負荷がかかる活動が戻ってきたからかな。それとも年を取ったせいかなあ。
○秋に椎茸のほだ木の下から、続々とカブトムシの幼虫が出てきました。その数、五十数匹。保護して、あちこちにお嫁(お婿?)に出して、8匹ほど残っているけど、ちゃんと成虫になってくれるといいなあ。
○四月に異動したと思つたら、あつという間に年を越してしまい、気づけばもう三学期。ひたすら仕事を覚えることに必死の一年でした。
○めつたにない積雪に声を弾ませ、次々に雪玉を抱えて登校して来た子ども達。荷物の整理もそこそこに運動場に飛び出し、雪をかき集めては雪合戦で駆け回ったり、雪玉を転がして雪だるま作りで奮闘したり。わずかな雪に雪だるまが土色に染まるハプニング

も、「雪だるまが土だるまになった！」「お地藏さんみたい！」と楽しくてたまらない様子。慣れない雪に素手の子もいましたが、「冷たい！」と真つ赤な手をこすりながらも、めつたに出来ない雪遊びを時間の許す限り満喫していました。特別に開放した1時間目の運動場には、子ども達のとびきりの笑顔が弾けました。
○反省職員会で要望を出したり協議しても、次年度に反映されないの何でだろう？

○高知県知事と高知市長の非公開の会談。開かれた県政・市政であつて欲しい。
○今年度は、調理・さをり織りとこれまでにないことをして過ごしています。
○平和へのとりくみが一番重要な時世になつてますね。

メールはこちら



メールはこちら